

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護学概論		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
坂本 文子 他	418	fumiko.sakamoto	月曜日～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	看護学概論は、看護基礎教育で教授する看護学体系の最も基盤となる科目であり、全ての看護対象者・全ての看護機能の原論である。このような特質をふまえて学習する。具体的には看護目的論・看護対象論・看護方法論の看護学の歴史的発展過程・看護理論や看護教育研究の発展過程の概説を学ぶ。看護学概論は、初学者の初期段階で学習するため、学生自ら主体的に学習することを認識し、今後の看護学学習の基本的態度を養う。学生は看護学概論を学習することにより、看護学体系を理解するとともに、看護専門職者として社会的・職業的自律の基盤を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> この授業では看護とは何か、看護の対象をどのように見るか、看護の目的論・対象論・方法論とそのつながりを学び、看護実践に必要な基本的知識と思考過程を身に付けることを目指す。 事前・事後課題に取り組み、不明点は質問するなど、疑問を解決しながら学びを積み上げてほしい。 系統看護講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学Ⅰ 看護学概論 /著:茂野香おる /医学書院 /2019 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 /著:F.ナイティンゲール /日本看護協会出版会 /2019 看護の基本となるもの /著:V.ヘンダーソン /日本看護協会出版会 /2016 				
教科書	[3冊指定]				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	必要時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護とは何か、ナイティンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
②	看護の対象について、ナイティンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
③	看護の目的論・対象論・方法論とそのつながりについて説明できる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
④	看護専門職に求められるものを説明できる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
⑤	看護を学ぶ学生としての自己の学修課題を記述できる。	HSU(1),NS(1)~(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護とは、看護の定義	講義	予習:看護職を目指す動機を記述する。 復習:学びをまとめる。	4	
2	ナイティンゲール看護覚え書きを読み解く①	講義 グループワーク	予習:入学前課題を振り返る。 復習:学びをまとめる。	4	
3	ナイティンゲール看護覚え書きを読み解く②	講義 グループワーク	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4	
4	ナイティンゲール看護覚え書きを読み解く③	講義 グループワーク	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4	
5	看護の役割機能	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
6	看護の対象の理解	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
7	健康と生活	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
8	ヘンダーソン看護論を読み解く①	講義 グループワーク	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
9	ヘンダーソン看護論を読み解く②	講義 グループワーク	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4	
10	職業としての看護	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
11	看護職養成制度(基礎教育・継続教育)	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
12	看護における倫理	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
13	看護における制度と政策	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
14	看護専門職の発展過程とキャリア形成	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
15	看護を学ぶ学生としての自己の課題	講義 グループワーク	予習:グループワークの準備を行う。 復習:学びをレポートにまとめる。	4	
試	定期試験				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	40	30	0	0	10	100	
	思考・推論・創造する力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	試験期間中に定期試験を実施して、授業中に講義した内容の理解度を評価する。					最終的に試験の解答を行い知識の確認を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
レポート	①	✓	授業時に複数回レポート課題を提示する。					内容を点検し、評価し、コメントを記して返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	授業やグループワーク、レポート課題への取り組みを評価する					提出物の遅れや消極的な態度が見えた時は、指摘し、理由を確認する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他担当教員	山崎洋子							
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として15年の実務経験、看護教員として17年の実務経験がある。							
実践的授業の内容	看護場面の映像資料や文献を用い、対象や看護場面をイメージできるように工夫する。 担当教員のこれまでの実務経験、教育・研究活動をもとに、事例を交えて授業を進める。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況によりスケジュールを変更することがある。変更する場合はTeamsや授業内で知らせる。 今後のコロナウイルス感染症の発生状況など社会情勢によって、シラバスの変更があり得る。 							